

日本ヒューマンヘルスケア学会誌 (Japan Journal of Human Health Care)

投稿規程

1. 投稿資格

投稿者は、筆頭著者、共著者ともに日本ヒューマンヘルスケア学会会員とする。ただし、依頼原稿についてはこの限りではない。

2. 学会誌の発行

原則として年に1回の発行とする。原稿募集の情報は学会ホームページに掲載する。

3. 投稿原稿の内容と原稿の種類

- 1) 投稿はその内容が国内外を問わず他誌に未発表で、掲載予定がなく、かつ、投稿中でないものに限る。なお、所属機関のリポジトリへ収載されている内容は、公表とはみなさない。また、学術集会での発表は未発表とみなす。
- 2) 原稿の内容は、本学会の設立の趣旨に沿って「社会の中で生活している人」を対象とする。趣旨から外れている原稿は受理しない場合がある。
- 3) 原稿の種類は、巻頭言、総説、原著論文、研究報告、その他である。
- 4) 本文の言語は和文または英文とする。英文(本文、要旨とも)は、原則として英語論文の校正を専門に行っている会社または英語を母国語とする科学者のチェックを受けたことを証明する書類(論文名、チェック者名の記載のあること)を添えて投稿する。
- 5) 投稿者は、投稿時に以下の原稿の種類のいずれかを申告する。ただし、査読者および編集委員会の勧告により希望どおりの原稿種別の採用にならない場合がある。
- 6) 原稿の種類
 - ①巻頭言 Preface
(和文は1,600字以内、英文は500 words 以内)
人の健康に関わる問題や話題のうち、議論が交されつつあるものについて今後の方向性を指し

示すような著述や提言。

②総説 Review Articles

(査読あり、図表含めて和文は16,000字以内、英文は5,000 words 以内)

特定のテーマについて文献等の内外の知見を系統的視点から概説し、総合的に考察した論文。

③原著論文 Original Articles

(査読あり、16,000字以内、英文は5,000 words 以内)

学術上および技術上の知識の発展に貢献する独創的な論文であり、新規性のある知見と実践への示唆が論理的に述べられている論文。

研究方法の科学的応用、尺度開発など学術の発展に価値のある有用な論文。

④研究報告 Research Reports

(査読あり、16,000字以内、英文は5,000 words 以内)

学術的に有用性が認められる報告等で、社会的に大きな波及効果を期待できる論文。

⑤その他 Others

セミナー・研修報告や資料等、編集委員会にて認めたもの(査読なし、8,000字以内、英文は2,500 words 以内)とする。

4. 査読

査読規程に準拠して、内容によりその専門領域について学会会員内外を含めて2名の査読を依頼する。査読結果は、投稿から約3ヶ月を目処に学会事務局から筆頭著者または指定の者に返送する。査読者から修正を求められた際には、各指摘事項に個別に回答し、さらに本文中の修正箇所は下線をひいて明確にして3ヶ月以内に再投稿する。学会事務局からの返送後3ヶ月を過ぎた後に投稿されたものは新規投稿とみなす。

5.著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は本学会に帰属する。投稿論文等に他者に帰属する資料等を使用した場合や転載のある場合は著者がその著作権者に使用または転載許可についての申請手続きを行った上で投稿する。

本誌に掲載された論文等を所属機関のリポジトリ等に収載する場合は、学会事務局に連絡する。

6.研究倫理

投稿者は、日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」(丸善出版)〈<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>〉の 内容を遵守する責務がある。

人および動物を対象とする研究は、投稿者所属の施設もしくは研究参加者が所属する施設の研究倫理審査委員会で承認されたものとし、原則として、研究倫理委員会での研究実施許可(承認)番号等が本文中に記されていることとする。

7.研究における利益相反

当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。利益相反となるような外部との経済的な利益関係等がある場合には、その旨を本文に明記する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」旨の内容を本文に記載する。

8.投稿手続きおよび原稿の受付

- 1) 投稿原稿の提出方法は、原則として表紙([様式1-1 PDF](#)) ([様式 1-1 WORD](#))、表紙([様式 1-2 査読用 PDF](#)) ([様式 1-2 査読用 WORD](#))、共著者投稿承諾書([様式 2 PDF](#)) ([様式 2 WORD](#))、本文(全ページを通した行番号付き)、図、表、著作権譲渡同意書([様式 3 PDF](#)) ([様式 3 WORD](#))、利益相反申告書([様式 4 PDF](#)) ([様式 4 WORD](#))、投稿チェックリスト([様式 5 PDF](#)) ([様式 5 WORD](#))を PDF ファイルにして学会事務局 e-mail アドレス〈jshhc@uhe.ac.jp〉宛に指定された方法で添付する。詳細については、原稿執筆内容の手引きを参照のこと。

- 2) 原稿の到着日を受付日とし、採用決定日を受理日とする。

- 3) 査読を経た最終原稿の印刷の著者校正は 1 回とする。校正時の原稿の加筆は認めない。

9.執筆要領

- 1) 投稿原稿は、A4 縦、横書き、上下左右余白 30mm、1 頁 40 字×30 行、英文はダブルスペースとする。邦文は MS 明朝 10.5 ポイント、英文フォントは Times New Roman、文字の大きさは 12 ポイントとする。

- 2) 要旨とキーワード

総説および原著論文原稿には和文要旨(400 字以内)と英文要旨(250words 以内)をつける。要旨は可能な限り、【背景】、【方法】、【結果】、【結論】として構造化する。英文の場合には、【Backgrounds】、【Methods】、【Results】、【Conclusions】とする。キーワードは、和文および要旨の最後に改行して 5 つ以内の和文キーワードと英文 Kew words をつける。和文と英文それぞれについて要旨とキーワードあわせて A4 用紙 1 枚分とする。

- 3) 見出し

章構成は原則として、Ⅰ.緒言、Ⅱ.方法、Ⅲ.結果、Ⅳ.考察、Ⅴ.結論、Ⅵ.文献とし、各章の項目分けは、半角文字で 1. 2. 3…、1) 2) 3)…、(1) (2) (3)…とする。

- 4) 文献書式

書式を統一するために、文献管理ソフトを活用することを推奨する。原則として APA (The American Psychological Association) スタイルに準拠する。本文末文中の引用表示は、引用箇所を著者名と出版年によって表示する。著者名と出版年の組み合わせで文献リストに記載されている文献が一意に特定できなければならない。また、著者名の姓のみで区別がつかない場合は、フルネームで引用表示する(前田,2014)。

詳細については、原稿執筆内容の手引きを参照のこと。

10.掲載料

- 1) 原稿の種類別に定められた文字数の範囲の論文掲載は無料とする。

- 2) 図・表でカラー刷りを希望する場合は、著者負担とする。
- 3) 図・表等で編集委員会において掲載上修正が必要と判断した場合、は修正にかかる費用を著者負担とする。
- 4) 別刷代は全額著者負担とする。

この規程は、平成 28 年 5 月 12 日より発効する。